

新日鉄住金・進藤副社長(秋田市出身)

# 練習は不可能を可能に

新日鉄住金の次期社長に4月1日付で就任する進藤孝生副社長(秋田市出身)が15日、県ラグビーフットボール協会(田邦宏会長)の招きで来県し、秋田市の秋田ビューホテルで「私のラグビー人生」と題して講演した。協会関係者や中学、

高校のラグビー部員ら約260人を前に「練習は不可能を可能にする」という言葉を信じて努力してほしいと呼び掛けた。進藤副社長の来県は、1月16日に社長就任が発表されて以来初めて。

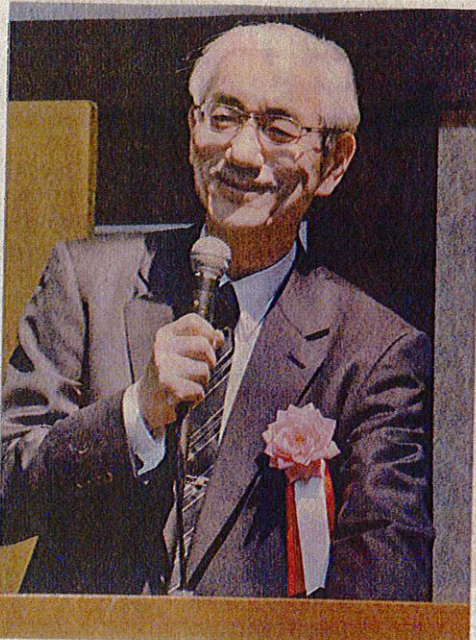
## 次期社長就任 後輩ら前に講演

進藤副社長は秋田高ラグビィ」と述べ、「共に勝利に向一部のフォワードとして全国大会に2度出場し、ベスト4、ベスト8に進んだ。一橋大ではラグビー部主将を務めた。講演では「ラグビーで学んだのはチームワークの大切

力と精神力がその後の人生を支えてくれたと振り返り、「人間は知的活動のみでは完成しない。強靱な精神を支える強靱な肉体も必要」と強調。「不可能を可能にする魔法があるとすれば、それは練習と努力。中高生も企業もそれは変わらない」と述べた。

先輩の講演に耳を傾けた秋田高ラグビー部1年の鎌田康平君は「練習はきつくてつらく、勉強との両立に悩むこともあるが、講演を聞いて、必ず社会で役に立つということを学んだ」と話した。

講演会は、本県で初めてラグビーの試合が行われたとされる1923年から、本年度で90年を迎えたことを記念して開かれた。



自身のラグビー人生を語る新日鉄住金の進藤副社長